



和小だより

弟子屈町立和琴小学校

11月29日 発行者 校長 大山道弘

～学校と家庭と地域で子育てする和琴小～

■学校教育目標

よく考え正しく判断できる子 (知)

強い心と体でやり抜く子 (体)

優しい心で助け合う子 (徳)



子どもの安心できる居場所

校長 大山 道弘

冬の使者と言われる白鳥が、この屈斜路に飛来して一ヶ月ほど経ちます。小春日和が続き、まだまだ冬は遠いと思っていましたが、朝晩の冷え込みは日に日に厳しくなり、冬の訪れを感じています。

先日、屈斜路80周年記念で埋設したタイムカプセルの開封式に参加させていただきました。参加した皆さんは、40年前の小・中学生の頃に戻ったように思い出話で盛り上がっていました。同じ時を一緒に過ごした仲間の大切さを感じました。本校の子どもたちも同様に、思い出深い学校生活が送れるように努めていきます。

さて、「アタッチメント(愛着)」という言葉を知っていますか。「アタッチメント」とは親と子どもの間に作られる強い情緒的な絆のことを指します。これは子どもの健全な発達にとって、とても重要だと言われています。

アタッチメントは「安全基地」「情緒的な支え」「愛着行動」の3つの概念を基本としています。安全基地とは「居場所」です。子どもにとって、親が「安全基地」になります。この存在があると、子どもは安心して探索や学習に対する意欲をもつことができます。

子どもは何かに挑戦を始めて、もし不安になったら助けを求めて戻ります。そして、安心したらまた出発して挑戦します。これを繰り返すと、子どもには「何かあったら戻ればいい」という確信が生まれます。このアタッチメントの積み重ねが「もっと先まで行ってみよう」という探究心を育み、やがて親がそばにいらなくても挑戦する力がついていくのです。

また、幼児期の子育てでは、子どもの本能的な欲求に目を向けたアタッチメントが大切です。くっついて安心感に浸りたいという欲求が満たされると、子どもの心や行動が安定するというものです。

子どもに安心感をもたせる方法として、次のような研究の結果があります。よく癩癪を起こす幼児に対して、1日最低5分間子どもの遊びに寄り添う、見守るだけで感情を爆発させる行動が減っていくそうです。1日たった5分で癩癪が収まるのかと思いますが、親が子どもに関心を寄せることで子どもは安心するそうです。

見守る際は、「こうした方がいいよ」などあれこれ口を出すことや、スマホやテレビを見ながらでは効果がないそうです。5分間、ただただ見守る、もしくは「よくできたね」と褒める。「私のことを見てくれている」という安心感が子どもの成長過程において必要かつ重要で、特に幼少期が大切だそうです。小学生からでも遅すぎることはなく、膝の上に座らせたり、ぎゅっと抱きしめたりするのも効果があるそうです。

子どもは親にかまってほしい、話を聞いてほしい、注目してほしいものです。たとえ反抗期の兆しが見られても同様です。

子どもは日々成長し、それに伴い変わっていきます。保護者の皆様は、苦勞が絶えないかもしれませんが、もし、ご家庭で心配なことがあれば、学校に気軽にご相談ください。

<12月の行事> 下校時刻は、前半が5時間・後半が6時間

日	曜	行 事	下校時刻	給食
1	日	週休日		×
2	月		14:00 14:55	○
3	火	学力検査(全学年) ALT	14:00 14:55	○
4	水	学力検査(3~5年) 全校集会	14:00	○
5	木		14:00 14:55	○
6	金	参観日 学級懇談	14:00	○
7	土	週休日		×
8	日	週休日		×
9	月	清掃週間(~19日) 赤い羽根募金(~13日)	14:00 14:55	○
10	火	ALT	14:00 14:55	○
11	水	アイヌ文化体験教室 読み聞かせ	14:00	○
12	木	図書館バス	14:00 14:55	○
13	金	ALT	14:00 14:55	○
14	土	週休日		×
15	日	週休日		×
16	月		14:00 14:55	○
17	火	人権教室 ALT	14:00 14:55	○
18	水	なわとび集会	14:00	○
19	木	5時間授業	14:00	○
20	金	ALT	14:00 14:55	○
21	土	週休日		
22	日	週休日		
23	月		14:00 14:55	○
24	火	大掃除 ALT	14:00 14:55	○
25	水	2学期終業式 4時間授業	12:45	○
26	木	冬季休業(1/14~) 図書館バス		
27	金			
28	土			
29	日	学校閉庁日		
30	月	学校閉庁日		
31	火	学校閉庁日		

学校閉庁日 12/29(日)~1/3(金)

【緊急連絡先】

弟子屈町教育委員会 015-482-2945

11月の和っ子

■令和6年度学習発表会

10月26日(土)に学習発表会を行いました。今年のスローガンは、「みんなで協力して楽しい学習発表会にしよう!!」でした。地域に参観を呼びかけるとともに、来賓に教育委員会、自治会役員、学校運営協議会委員をお招きしました。

発表のスタートは、1年生の「はじめのことば」です。5人の元気の良い挨拶が体育館に響き渡りました。



1・2年生の発表は「オズの魔法使い」です。休み時間も使って一生懸命練習し、セリフや歌を覚えしました。練習の成果を発揮し、元気いっぱいの発表で観客を楽しませました。



3・4・5年生の発表は「夢をさがしてドラえもん」です。自分たちでセリフの一部を考えたり、道具を作ったりしました。また、劇中で器楽演奏も披露しました。



5年生の発表は、リコーダー演奏「ルパン三世のテーマ」と本の紹介でした。表現を工夫し、観客を惹きつける発表となりました。

全校合唱では、「この山光る」「わたしは『とうふ』です」「音楽のおくりもの」を披露しました。曲想の全く違う3曲ですが、低学年の元気な歌声と中高学年のきれいな歌声が重なり、すばらしい合唱になりました。

今年の学習発表会は、スローガンにもある通り、みんなで協力しながら準備や発表をすることで楽しい学習発表会になりました。

■中高学年収穫祭

10月31日(木)は中高学年の収穫祭でした。畑で育てたカボチャを使ってカボチャ団子を調理しました。カボチャをすり潰し、好みの形にして焼きました。味付けしたのももあり、味の違いも楽しみました。改めて大地の恵みに感謝です。



■高学年出前授業

今月は、高学年で出前授業が続きました。14日(木)は EXPO スクールキャラバンの一環として電気事業

連合会の方を講師に迎え、カーボンニュートラルについて学びました。19日(火)は、川湯小・美留和小と合同で地熱発電について JOGMEC の方から学びました。未来の工業生産や弟子屈町を考える良い機会となりました。



■ましゅうランド

20日(水)は、本校を会場にましゅうランドを開催しました。低学年の児童は、園児を楽しませようと、けん玉やコマ、やじろべえやお面などを作りました。限られた時間の中で遊び方を説明したり、園児が困っていたら助けをあげたりと、頼もしい一面が見られました。楽しんでもらえたことで達成感を得ることができました。



■アイヌ民族資料館見学

25日(月)、中学年はアイヌ民族資料館へ行きました。学芸員の方から説明を受けたり、施設を見学したりしました。地域の施設を活用し、貴重な資料や実物に触れることで、深い学びとなりました。



■いじめアンケート実施しました

●いじめとは？

児童等に対して、一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為であって、対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの(いじめ防止対策推進法より)

学校は集団生活の中で様々な事を学ぶ場です。多様な育ち方をしてきた子どもたちが集まり生活をする、衝突やトラブルが原因で心身の苦痛を受ける事はいつでも起こり得ます。苦痛に寄り添って対応していく事はもちろんですが、それを回避、又は解決にもっていく態度や考え方を身に付けることも集団生活の中で学ぶべき事と考えています。

さて、10月に実施した「いじめアンケート」において、本校では「いじめ行為」として認知できる事例はありませんでした。だからといって軽視せず、指導や見守りを続け、子どもたちがより良い人との関わり方を学ぶきっかけとしたいと考えています。

いじめには、加害意識がない場合や、被害にあっても否定したりする場合があります。「いじめアンケート」のみならず、今後も他のアンケートや面談、見取りなどを通して事実把握に努め、被害者の苦痛に寄り添った対応ができるよう心がけていきます。また、嫌なことがあったときに SOS を出せるよう支援していきます。

他者の心や行動はなかなか自分の思い通りには変えられません。変えられるのは関わり方です。願わくば、子どもたちがあたたかい思いやりと想像力をもって周囲の友達と関わり、皆が笑顔になれる学校を作り上げてほしいです。そして、職員はそれを守れるよう、時にはやさしく、時には毅然と、子どもたちと向き合っていきたいと思っています。